

編集と発行

### 金木町企画室

青森県北津軽郡金木町  
 大字金木字朝日山323  
 電話 ☎ 2111 (代表)内線240

# 小田川農業水利事業 盛大に完工式



↑ 盛大な完工式  
 ← 完工記念碑

二十年以上の歳月をかけて、一市二町一村にまたがる四千三百ha余の水田を対象にした小田川農業水利事業が完成し、六月二日農業者トレーニングセンターで完工式が盛大に取り行われました。

式典には、花田一、長峰一造両県議、原田一実小田川土地改良区理事長、山内善郎副知事をはじめ、五所川原市、金木町、中里町、市浦村の関係四市町村長と議員、農業関係者、施行関係者等約四百人が出席、完成を祝いました。

主な内容		P			P
○平成元年度植樹祭	2	○運動会	6~7		
○朝野球開幕	3	○今月の顔 優勝しました	8		
○田植はまかせて農業体験学習	4	○金木病院カルテ	10		
○牛モー喜ぶ春の放牧	5	○戸籍の窓			

人口と世帯	月末現在		前年同月比	
	男	6,489人	-	58人
女	7,039人	-	79人	
計	13,528人	-	137人	
	世帯数	3,908	-	10

# そだてようみどりを

## 平成元年度植樹祭

五月二十六日、川倉大倉嶽国有林内において、平成元年度の植樹祭が喜良市小学校みどりの少年団等約二百名程が参加して取り行われました。



▲ 50年後に期待をよせて

この日は、作業するには汗ばむほどの天気恵まれた。植樹に先立ち、安田金木営林署長及び大橋町長が「森林というものは輸入できものではなく、それは国民の財産であり、緑が生い繁る国は資源はなくとも

それだけで豊かになれる」と開会の挨拶があった後、多数の来賓からお祝いのお言葉がありその後、植樹に移った。

植樹された杉の幼木は約六百本、五十年後には家が四軒分ほど建築できるほどにも成長するもので、参加者達は手際よく「トガ」をふるい植樹していた。みどりの少年団員達は、営林署の職員に手伝ってもらったの植樹となったが、「五十年後にまたこの地に来て自分達が植えた木がどれだけ大きく育っているのか見るのが楽しみだ」と話していました。

その後会場を中央公民館に移して山火事警防協議会を開き、町長と営林署長が「国民の財産を守るためにも山火事防止に努める」と力強く宣言しました。



# みどりの少年団交流会

## ◎喜良市小学校みどりの少年団◎

喜良市小学校緑の少年団員達が五月十八日、五所川原市と北津軽郡にある他の緑の少年団と一緒に南津軽郡浪岡町の県民の森「梵珠山」に登り、自然観察をし

ながら交流を深めました。交流会では、「緑と親しみ、緑を愛し、守り・育てる活動を通じて、自然を愛し、人を愛し、自らの社会を愛する心豊かな人間に育



▲ 神妙に説明にききいる団員達

つていくこと」という緑の少年団の基本目的のもとに北五地方林業振興協議会と北地方農林事務所、それに県の自然保護課が共催して六つの少年団から百三十人ほどが参加して行われました。

登山に先立ち、北五地方林業振興協議会長である中野鶴田町長から「人間は緑が多く自然がいっぱいあった所で生活するのが一番よく、緑は平和のシンボルである」という開会の挨拶の後、ブナやヒバなど五つの班に分かれて出発しました。

途中、木や野鳥の種類などについて説明を受けながら、一時間ほどで標高四百六十八mの梵珠山山頂につき、岩木山や八甲田山などの大パノラマを目にして歓声をあげていました。

その後、梵珠山キャンプ場下山し昼食で用意した焼き肉を食べながら相互の交流を深めていました。

# 金木町

## 生涯スポーツ推進事業①

地域における生涯スポーツの普及、振興を図り、町民の心身の健全な発達と明るく豊かな町民生活の形成に寄与するため、国の補助金の交付を受けて行うもので次の二事業を実施いたします。

### 一、少年スポーツ活動育成事業

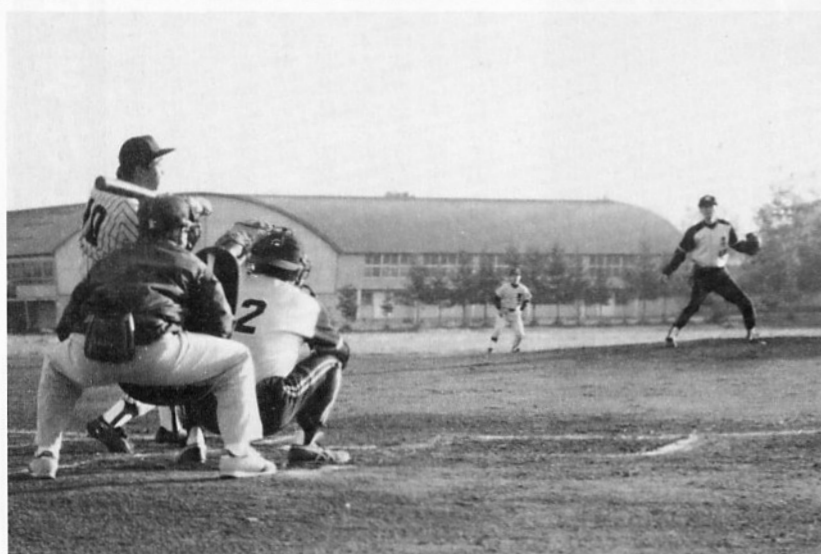
これまで、スポーツ活動への参加の機会がなかった少年や意欲の乏しい少年を対象に、スポーツ活動に親しむための態度を養うことを目的として、陸上競技、水泳教室、柔道教室、剣道教室、バレーボール教室、ゲートボール教室、卓球教室の合わせて七種目のスポーツ教室が開催されます。

二、勤労青少年スポーツ活動推進事業

勤労青少年の体力の向上と生涯を通してのスポーツに親しむ態度の育成を図ることを目的として、野球教室、水泳教室、バトミント

ン教室、テニス教室、ソフトボール教室、スキー教室の六種目のスポーツ教室が開催されます。

次回から各スポーツ教室をシリーズで紹介いたします。



▲三振か？フォアボールか？

# 野球開幕!!

五月十五日から朝野球人待望の平成元年度（第十八回）金木町朝野球選手権大会が開幕しました。

今年度は前日の開会式が雨のため中止となったものの、A級十チーム、B級七チームの計十七チーム総勢三百五名が登録、優勝旗を目指し和気あいあいのなかにも勝負に対する闘志をかきたてていました。

各チーム監督に今年の抱負、目標を聞きました。

#### A級

##### ◎CITY II

白川鉄也監督

「優勝して県大会へ」

##### ◎藤枝太陽クラブ

坂本一志監督

「目標は三勝」

##### ◎川倉愛球クラブ

其田悠司監督

「汚い野球をやらない。ズバリ優勝するのみ」

##### ◎金木町役場

泉谷正幸監督

「朝の空気を吸ってまずは一勝」

##### ◎男寿シクラブ

野宮 誠監督

「上位入賞をして県大会出場」

#### ◎上町クラブ

楠美省一監督

「A級上位残留」

#### ◎金木野球クラブ

原田順一監督

「メンバーが若がえったので県大会を目指す」

#### ◎マキタ・フェニックス

徳田 誠監督

「人数が少ないのでケガをしないようにがんばるだけ」

#### ◎あきもとエンジェルズ

花田和雄監督

「三位以内に入り郡大会を目指す」

#### ◎原田でんき

原田 哲監督

「当然優勝。6年ぶりのV奪回」

#### ◎アポロ吉崎

工藤秀雄監督

「今年は、特に優勝を目指してチームづくりをしたが、A級へ行くのは辞退する」

#### ◎金木町役場B

白川 眞監督

「昨年の四位を死守したい」

#### ◎朝日クラブ

福長勝義監督

「ケガをしないように楽しく」

#### ◎イーグルス

石川孝弘監督

「四十七歳のエースがどれだけでもつかが課題。勝ったときの酒はうまい」

#### ◎喜良市棒球隊

三上修二監督

「ケガをしないで二位目標」

#### ◎県信用クラブ

秋元隆良監督

「今年は優勝」

#### ◎下山自動車

鈴木 卓監督

「去年は下位の方だったし、今年は若い人が三人程入ったため、三位が目標です」

6月30日は町県民税  
第一期分の納期限です  
忘れずにおさめましょう

# 田植えはまかせて!! 農業体験学習

## 喜良市小学校

五月二十三日、喜良市小学校（鎌田連二校長）で五年生・六年生達が総出で泥だらけになりながらも学校の田植えに奮闘していました。

学校田は同小校舎の北側に隣接し、約十八坪の広さがあり、毎年五年生・六年

生と先生方でもち米の苗を植えて田の草取りから収穫

としてもちつき大会と農作業の苦労と喜びを体験しています。

この日は、天気に恵まれて水がぬるんだせいか児童達は歓声をあげながら我先にと田んぼに入り、手足を泥まみれにしてみました。



▲まっすぐうえたかな(喜小)

## 嘉瀬小学校

五月二十四日、嘉瀬小学校（原田恵喜校長）で五年生児童による田植えが嘉瀬八幡宮東側にある学校田でにぎやかに行われました。

この学校田は、嘉瀬農協青年部（沢田寿男部長）が試験田として借用している田んぼの一部を提供していた

だいたいです。

この日の田植えはあいにくの雨となり肌寒くあったものの嘉瀬農協青年部と父兄方の指導・協力のもと出来秋に期待をよせながら約九坪の学校田にもち米を植えた。

児童達は慣れない田んぼに手足を泥だらけにしながらも大好評でした。



▲田植はカニ歩き(嘉小)

## 保育所児童が

## 交通安全のよびかけ

五月十日、役場前の道路において第二保育所の児童達がドライバーに交通安全を呼びかけました。

この日は、年長組の児童二十二人に母の会の皆さんと保母さん達が午前十時から役場前の道路に集まってドライバーにポケットティ

ッシュを包装した安全運転記念品を贈り「安全運転をお願いします」とやっとなが届く窓からかわいらしく呼びかけていました。

交通安全はみんなの願いです。歩行者もドライバーもお互いに気をつけて事故のない町にしましょう。



▲交通安全おねがいしま～す

# 牛毛一喜ぶ春の放牧

五月十二日、金木町喜良市地区小田川山内地区にある薄市地区（金木団地）共同利用模範牧場（総面積百三十一・五ha）に肉用牛の放牧が行われました。



▲牛もよろこびかけまわる

放牧には金木地区肉用牛組合（石戸谷秀雄会長、組合員九人）の組合員をはじめ、金木農協や北方農林事務所、役場などから肌寒いなか三十人ほどが集まり今年生まれた子牛三十三頭を含め、肉用黒毛和種七十六頭の放牧を行いました。牛たちは冬の狭い牧舎から開放されたためか、久しぶりの広い牧野に勢いよく飛

び出し二十cm程に伸びた緑濃い牧草をおいしそうに食べていました。

その後、牧場内の看視舎において意見交換会が行われ、「これからの牧場の在り方」や「今の高騰している牛肉の価格がいつまで続くのか」といった活発な意見交換が行われて終了しました。

## 地蔵堂を 寄進



▲新装なったお堂

嘉瀬、新堤町の小野留雄さんが同鍛冶町地区の薬師神社境内にある地蔵尊のお堂を新築、寄進してくれました。

小野さんは公共心が旺盛な方で家業である鮮魚商の余暇をみつけては神社の境内の草取りや掃除などをおこなっています。今度の地蔵尊のお堂も資材費など個人で負担して基礎から天井まで自らの手一つで行いこの程十日くらいかけて落成しました。地域住民も新しくなったお堂を見て感謝していただきました。

## 生活の中のカビを防ぐ 湿気とほこりを断つ

カビは一種の細菌です。気温二十度から三十度、湿度六〇%から八〇%、それに「栄養」が加わると、どんどん増えます。とくに梅雨のころは、カビの繁殖が目立ちます。真っ白な壁紙に大きなシミがでたり、ふる場のタイルの目地が薄汚れるのも、カビが原因です。

一口にカビといっても青カビ、黒カビ、赤カビなど多くの種類があります。カビを顕微鏡でのごとく「花畑のように美しい」のですが、百円硬貨一個分の面積に、約百億個もの胞子があるというのですから驚きです。

また、カビの繁殖するスピードは大変早く、胞子一個がくっついてからたった一週間で一千倍以上に増え、あつという間に点々としたシミになります。

カビの栄養は、湿気とほこり。そのため、これら栄養源がある場所は、カビが発生しやすくなります。ですから、食べ物だけでなく紙や皮革、プラスチックや

アルミニウムなどにも湿気やほこりがあれば、カビは発生します。

さてカビの退治ですが、やはり湿気を少なくすることが一番です。この時期は、なるべく室内に鉢植えを置いたり、洗濯物を干さないようにしたいものです。また、こまめに換気扇を使ったり窓を開けたりして、湿気をとるなどカビの栄養源を断つことです。防カビ剤を使うのも一つの方法といえるでしょう。

このほか、意外にカビの発生しやすい場所が、じゅうたんの裏側です。とくに湿気の多い梅雨時は、カビの胞子が繁殖しやすくなります。そして、この胞子はダニの好物でもあるのです。このようにして発生したカビとダニは、子供のアレルギー性ぜん息や肺炎症状の疾患の原因にもなりますので、じゅうたんの裏側の掃除も忘れないうようにしましょう。

カビ退治には、虫干しと大掃除がなによりも大切なのです。